

A 岩手県コース

竹内 啓 (2010・院テクノロジーマネージメント)

2012年10月13日から14日にかけて校友会の東北応援ツアーに参加した。私の参加した岩手コースは、いわて花巻空港又は新花巻駅より釜石地区、大槌、山田、宮古を経由し浄土ヶ浜にて宿泊し、現地の校友に震災の体験談をお話頂き、参加者で共有するというものだった。三陸海岸地区はまさにリアス式海岸であり、バス移動の際は居住集落があったと思うとトンネルを抜けて、という風景が繰り返された。このため被災当時は各自治体が孤立してしまいなかなか連携を取るのが難しかったのだろうなという印象を受けた。大槌駅でバスを降りる機会を設けていただいた。駅周辺は建物の基礎部分を残すのみで辺り一帯更地になっていた。寂しい光景に見えたが、直後は瓦礫の山であったことを思うと、徐々にではあるが復興の兆しと捉えたく思った。交流会での震災体験談では自治体や自衛隊等が動き出す前にいち早くリーダーシップを発揮し、生活基盤を取戻す様を伺い、どんな時でも、あきらめずできることから進めていくことがやはり大切だと感じた。最後に、私達の訪問について嬉しかったと現地校友の方に言って頂き、とても嬉しく思った。